

“ちいろば先生”榎本保郎 召天40年記念講演

一番大切
だったもの

榎本保郎と三浦綾子
二人のアホウが照らす道



“ちいろば先生”榎本保郎が最晩年まで書き続けた「アシュラム」誌の巻頭言と、同誌に連載された三浦綾子のエッセイ連載「壺」を丁寧に読み解き、親友であり信友であったこの二人のキリストのアホウにとって“一番たいせつだったもの”は何だったのか、そして彼らが照らし、示してくれている道についてお話します。昨年9月の榎本保郎召天40年記念会で語られた記念講演の再演です。榎本保郎の巻頭言集『聴くこと祈ること』（2017年・いのちのことは社）も紹介、販売いたします。



講師 **森下辰衛** 三浦綾子読書会代表

日時 2018年 **9月14日**(金)14:00-15:30

会場 日本ナザレン教団 **青葉台教会**
〒227-0062 神奈川県横浜市青葉区青葉台1-15-17

*田園都市線青葉台駅より徒歩7-8分。駐車10台可。
隣地にコインパーキングがございます。

*入場無料ですが、金額自由の献金(カンパ)をお願いします。
申込み不要。問い合わせは、045-981-8822(教会)、
または09020585978 luc2342@ezweb.ne.jp (森下)。



Googleマップ

